

村山中藤保育園「櫻」の保護者の皆様へ

2024年度に当園が受審した福祉サービス第三者評価の結果についてお知らせいたします。

※以下は、福祉サービス第三者評価機関である株式会社学研データサービスが作成した評価結果の概要です。なお、評価結果の詳細につきましては、「とうきょう福祉ナビゲーションのホームページ（<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>）からご覧いただけます。

福祉サービス第三者評価結果概要

特に優れている点

「子どもファースト」の保育理念を明確にし、
職員の意志統一の基に全員が協力して保育の質の向上を目指しています

「子どもファースト」の保育理念を明確にし、保育者指針では命を預かり、パーソナリティを確立する心の形成期であることを示し、職員は会議などで理解を深め、協力して日々の活動に取り組んでいます。また、保育の質を高めるために、保育の担い手である職員の職場環境の改善に取り組み、ICT化の推進や書類の見直しなどを着実に進め、業務効率が向上し書類作成時間短縮や就労状況などの改善に繋がっています。職員の働き方の変化となり、子どもへの関わりはより丁寧になり、職員が安心して働き、保育の質の向上への意欲に結び付いています。

科学的知見により計画された保育の中で、大人との信頼関係と
良質の教材の提供をして育ちを支え、子どもが自ら育つ環境を提供しています

創始者である理事長は情緒や心理学的側面からの精神衛生学、体の仕組みの概略を医学的な視点から学ぶ等、多くの研究を重ね「人は皆、自ら育つ力を秘めている」との保育理念を確立させています。その実現に向け、大人との信頼関係を基盤に発達段階に応じ自発的に活動しやすい環境を提供しています。0～2歳児は機能発達を重視しじっくり遊べるよう、特に0歳児室には四足運動用のろくぼくを常設しています。3～5歳児は能動的に友だちと楽しむ工夫があり、社会の中で生きる力を育みます。運動遊びの他、積み木遊びや共同製作も楽しめる環境です。

子どもの発達や興味に添ったタイミングで個々に対応し、
生活する力を付けて遊びに挑んでいけるよう支えています

基本的な生活習慣の確立に向け保護者と連携をして、自身でできた喜びを感じられるような支援をしています。職員は個々の発達を観察し、保護者にもトイレトレーニングや食具の持ち方について、園での取り組みや関わり方のヒント等をプリントで伝えています。タイミングを逃さないようにして、今年度はパンツへの移行は1歳児でも多く2歳児後半ではほぼ全員で、箸への移行も多くなっています。そして、生活力を持ち3歳児から縦割りクラスで遊びをを広げ、衣服の調整や持ち物の管理等も、職員は先回りせず、自分で必要性を感じ行えるようにしています。

さらなる取り組みが期待される点

子どもに寄り添った保育実践や職員の
働き方改革のために、保育人材の増員が望ましいでしょう

多くの職員がチームワークを発揮し、障がい児や個性のある児童を受け入れ、一人ひとりの個性や心身の適切な発達時期に寄り添った保育を実践するためには、さらに職員を新規採用することが必要であると園長は考えています。経営的な視点もあり、可能な範囲の中で職員を増員することで仕事の組み立て方が変わり、働き方改革を進めていく上でも常勤職員のさらなる採用により体制を強化することが望ましいでしょう。しかし、世の中の保育人材不足の状況下では大きな課題ですので、すでに実施している取り組みを充実し、継続することを期待します。

苦情解決制度の認識を高めるために、さらにさまざまな機会に発信していくと良いでしょう

苦情解決の仕組みや方針については、重要事項説明書や資料を作成して入園説明会や入園式などで保護者に配付し、繰り返し説明しています。制度の目的は利用者の権利を擁護し、苦情への適切な対応を行い円満な解決に取り組むものです。社会性や客観性を確保するため、園と利害関係のない第三者委員を設置し、助言や公正な対応をしています。しかし、第三者評価の利用者調査結果においては、制度について認識度がもう一歩という状態です。現状の資料掲示や投函箱設置だけではなく、さらにさまざまな周知機会での発信をすると良いでしょう。

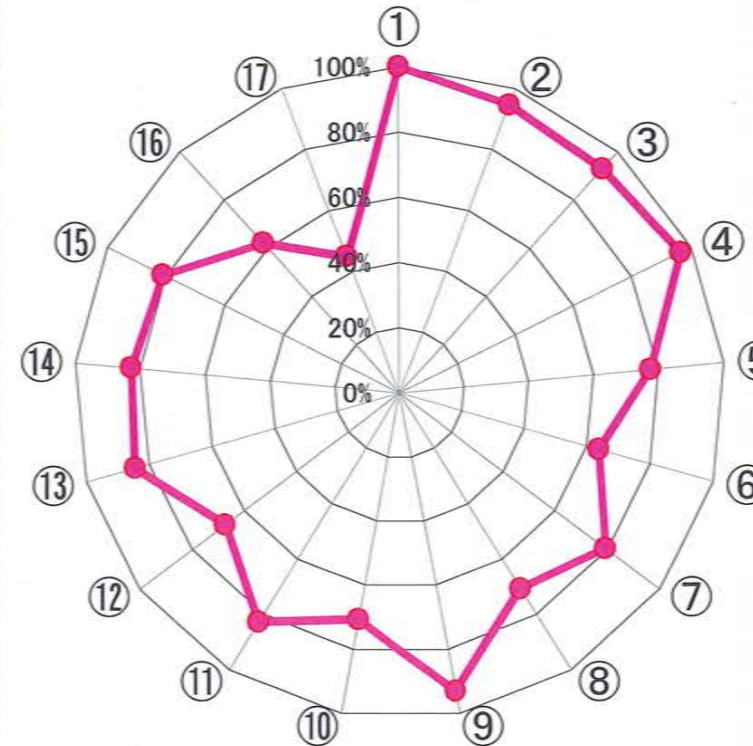
登降園時のコミュニケーションを充実し、保護者の要望に対応することを期待します

登降園時における保護者とのコミュニケーションについて、特に降園時の会話を充実し保護者に今日の出来事や、子どもの様子を少しでも多く伝えるように努力はしていますが、保護者の来園が集中する時間帯などには挨拶だけに終わり、保護者が期待しているレベルまで対応できていない場合があります。子どもの様子を知りたいという保護者の要望に対応し満足度を高めるに、大変厳しい時間帯ではありますが、情報を事前に整理し的確に伝えることや、写真の掲示などを多くするなど園での活動が読み取れる媒体の工夫をしていくと良いでしょう。

利用者アンケート結果概要

実施期間：2024年11月6日(水)～2024年11月20日(水) 回収率：45.0%

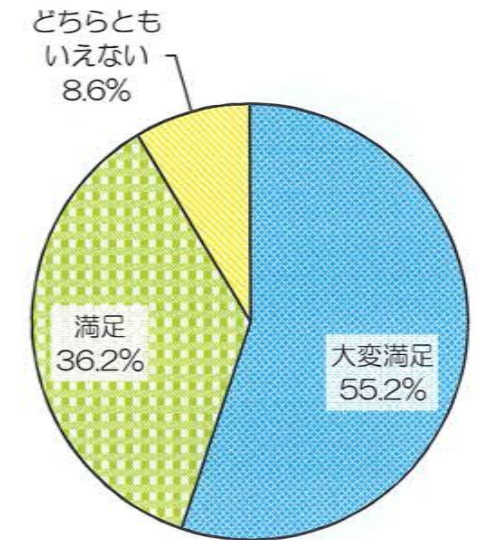
質問別「はい」の回答率



〈質問項目〉

- ① 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか
- ② 保育所での活動は、子どもが興味や関心をもって行えるようになっているか
- ③ 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか
- ④ 園生活で身近な自然や社会と十分関わっているか
- ⑤ 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか
- ⑥ 安全対策が十分取られていると思うか
- ⑦ 行事日程の、保護者の状況に対する配慮は十分か
- ⑧ 子どもの保育について、家庭と園に信頼関係があるか
- ⑨ 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか
- ⑩ 職員の接遇・態度は適切か
- ⑪ 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか
- ⑫ 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか
- ⑬ 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか
- ⑭ 子どもと保護者のプライバシーは守られているか
- ⑮ 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか
- ⑯ 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか
- ⑰ 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか

園に対する総合満足度の結果



利用者アンケートの結果や福祉サービス第三者評価の結果の詳細内容は、「とうきょう福祉ナビゲーション」のホームページで公表します※。（福祉サービス第三者評価のページからご覧いただけます）
※結果が公表されるまでに時間がかかる場合があります



「とうきょう福祉ナビゲーション」URL
<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>
パソコンまたはスマートフォンでご覧ください

園からのコメント

第三者評価受審の際にはご協力を賜りありがとうございました。
受審結果と皆様からのご意見を踏まえさらに努力を重ねて参ります。
ご協力ありがとうございました。

【福祉サービス第三者評価 評価機関】

株式会社学研データサービス R&C評価事業部
(認証評価機関番号 機構05-149)

